

いのちと地域を守る

每月11日揭載

防災・減災のページ



母車が命綱

■宮崎・木花保育園 避難訓練

宮崎市の木花保育園に10月28日午前9時半、訓練の緊急地震警報が鳴った。園児はロッカーにしばらく身を隠した後、園庭に移動し、避難が始まった。駆け足の園児も、乳母車を押す保育士も真剣な表情で県道を横断し、坂道を這いつた。高台の公園に向かう複数のルートで危険箇所をチェック。津波避難訓練「カケアガレ!」日本を振り返した巡回ワークショップ「むすび塾」では、保育園と地域連携で掲げた「安全確保確保に備えに取り組む」とを確認いた。



慌てず駆け足

黄色い手旗で車を止めている間に、園児と保育士らは足早に県道を横断した



崖崩れ注意



反省と課題共有

幼子真剣「いざ高台へ」



手を取り合って 助け合いの気持ちを確かめ合うように、しつかり手をつないで坂道を上る園児たち

危險箇所把握



訓練で使わなかつた避難ルートには
竹林が崩れ落ちそうな箇所があつた

ルートの安全確認 徹底

宮崎日日新聞社 こう伝えた

河北新報社は防災・消防の啓発報道を強化すべく、本年度、地方紙連携による巡回ワークショ...「むすび塾」と津波避難訓練「カケアガレ！」

本」の展開を始めた。宮崎での「むすび塾」を共催した宮崎日日新聞社は、毎月11日に防災特集紙面を作っている。されば開業翌日の10月29日朝刊で、津波避難訓練やワークショップを掲載したほか、詳報特集を河北新報社と同時に本日11日朝刊で報じた。詳報特集を紹介する。